

トキの島から発信!! まだ続く挑戦へ

真野小学校五年 薄木 日菜

「♪とおくとおく、はなれていても……」私
 が遊んでいたら、テレビからとてもすみきっ
 た歌のCMが聞こえてきました。おはあちゃん
 が「あら、さいとうさんが出とるわー」と言
 いました。私は「さいとうさんって、だあれ
 ？」と聞きました。さいとうさんは、農協に
 つとめていて家のお米を運んでくれた親切で
 カ持ちの人だと教えてくれました。お母さん
 が、さいとうさんのおくさんは保育園の先生
 で、私がとても大好きな先生だったと、教え
 てくれました。二才だったの覚えていませ
 んが、写真で見た大好きだった先生のだんな
 さんと分かり、さいとうさんのことを知っ
 ているような気持ちになりました。

さいとうさんは、今は農家になり米や果物
 をたくさん作っているそうです。お母さんが
 いっしょに働いている人が、さいとうさん
 と近所です。いろいろと教えてくれました。中

も米作りはとても力を入れていそうです。
トキと暮らすことについて、佐渡米を全国に
アピールする事にとっても力を注いでいそう
です。その米作りというのは、農薬や化学肥
料をへらして、その分有機肥料を半分以上使
って田んぼの中に、カエルやとじょうなどの
生き物が住めるようにしてトキにえさ場を作
いさようしてあげることにも入るのだそうです。
しかし、農薬をへらせば、いねは病気になる
やすいけれど、あえてむずかしいことに挑戦
してみとめてもらうのだそうです。他にもじ
ょうけんがあるそうです。国中平野の新ぼ青
木地区では、一ばん的な米作りではなく、地
いきで、みんなを取り組むをテーマに、さい
とうさんが中心となり活動しているそうです。
それは、とても大変な事だと思います。私も
クラスの係活動の時など、たくさんの意見や
考えがあり、みんなにうまく伝えていくとい
う大変さが分かるからです。会ったこともな
いさいとうさんをたえんしたい気持ちでワク

ワクしてきました。

社会で新潟県は米作りがさかんで、いよふな苗と栄養分のある土を作ることが大切だと学びました。先生の友達は静岡県に住んでいて、わざわざ佐渡米を買っている。得意そうに教えてくれました。私はとてもうれしくなりました。より安全にできる米作りはたくさんさんの努力が必要だけど、かんきょうにやさしい米作りは、いつか全国にみとめてもらえると信じています。

私のお父さんは農業一年生です。おじいちゃんがなくなくなったので、日記や、米作りカレンダーを見て初めて一人でがんばっています。

夏休みに田んぼアートを見ました。私が生まれた次の年に始まったせいで、記念して創った広い田んぼを見ると、大きく羽ばたいたトキと文字がうかんでとてもすがすがしい気持ちになり感動しました。来年は、生き物調査隊にも参加してトキと暮らすさとの米作りの一員に挑戦してみたいと思います。